

人権尊重都市鳥取市の実現をめざして



～（公財）鳥取市人権情報センターをご存知ですか？～

☎ 本庁舎人権推進課 ☎ 0857-30-8071 ☎ 0857-20-3945

「差別は人間が作り出したもの、なくせないはずはない」この思いを広げたい……」これは人権情報センターが毎年、鳥取市から委託を受けて開催している「人権とつとり講座」（※）の受講生からいただいた感想です。

今年のはじめ、新型コロナウイルスによる感染症が流行しはじめ、その収束は未だに見えていません。このウイルスは未知のことが多いため、多くの人が少なからず不安や恐れを抱きました。それによって、感染者や医療従事者などを避けたり、中傷したりするなどの「コロナ差別」が生じました。鳥取市でも、インターネットの掲示板などで感染した人を特定しようとして、誹謗中傷するような事例が発生しました。そのような差別があることにより、人が人を監視する、そんな生き

鳥取市人権情報センターは「出会い・つながり・ネットワーク」をコンセプトに、部落問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決をめざして事業を展開しています。

「差別は人間が作り出したもの、なくせないはずはない」この思いを広げたい……」これは人権情報センターが毎年、鳥取市から委託を受けて開催している「人権とつとり講座」（※）の受講生からいただいた感想です。

今年のはじめ、新型コロナウイルスによる感染症が流行しはじめ、その収束は未だに見えていません。このウイルスは未知のことが多いため、多くの人が少なからず不安や恐れを抱きました。それによって、感染者や医療従事者などを避けたり、中傷したりするなどの「コロナ差別」が生じました。鳥取市でも、インターネットの掲示板などで感染した人を特定しようとして、誹謗中傷するような事例が発生しました。そのような差別があることにより、人が人を監視する、そんな生き

差別をなくすために

人権情報センターでは、差別や人権を自分のこととしてとらえ、自分に何ができるのかについて考えていただくために、講演会や研修会（ヒューマンライツセミナーなど）の開催、機関紙・誌の発行など、さまざまな取り組みを行っています。そうした取り組みを通して、人と出会い、つながり、そして「差別をなくそう、人権を大切にしよう」という思いや行動をネットワークでつなげていきたいと考えています。

その他にも、人権や差別の問題に関する市民のみなさんからの相談や、人権研修の企画相談の受付、講師の紹介、派遣を行っています。人権や差別に関する図書・視聴覚教材の貸し出しも行っており、これらはホームページで検索できますので、どうぞご利用ください。

また、人権に関する市民活動の支援も行っています。鳥取市内において、市民団体やNPOが自主的に企画・実施する、人権教育・啓発事業や人権のまちづくり活動にかかると、経費の一部を助成しています。手続きは簡単ですので、お気軽にご相談ください。

ぜひ、あなたも…

（公財）鳥取市人権情報センター賛助会員募集中！！

賛助会員には、以下のような情報をお届けします。

- ・センター主催の各種催し物のご案内
- ・機関紙「ライツ」、機関誌「架橋」などの発行物

【年会費】
個人会員：3,000円 団体会員：10,000円

【問い合わせ先】（公財）鳥取市人権情報センター
（幸町151 鳥取市人権交流プラザ内）
☎ 0857-24-3125 ☎ 0857-24-3444
http://www.tottori-jinken-joho-center.or.jp



第35回ヒューマンライツセミナー（年に2～3回開催。人権に関する講演や映画上映を行っています。）

また、人権に関する市民活動の支援も行っています。鳥取市内において、市民団体やNPOが自主的に企画・実施する、人権教育・啓発事業や人権のまちづくり活動にかかると、経費の一部を助成しています。手続きは簡単ですので、お気軽にご相談ください。



おめでとうございます！ 第45回鳥取市文化賞

☎ 本庁舎文化交流課 ☎ 0857-30-8021 ☎ 0857-20-3040

11月3日、市の文化・芸術の振興に功績のあった人をたたえる「鳥取市文化賞」の贈呈式が仁風閣で行われました。このたび受賞された個人・団体をご紹介します。



しみず ますお
清水 増夫さん
【文化活動】

鳥取市でも多様で優れた映画作品を上映しようと、仕事の傍ら、「アートシネマ鳥取グループ」を立ち上げて、今年で50年。この間、「鳥取映画村」「NPO法人とつとりフィルムコミッション」「鳥取コミュニティシネマ」と名称を変えながら休むことなく活動を続けてきた。上映回数は359回、上映本数は439作品にもなる。扱った作品は、国内外の名作から、映画館では見られない芸術的映画、貴重なドキュメンタリー映画など幅広い。作品上映ばかりでなく、有名監督を招いての懇談会や、地元で行われた映画・テレビのロケ支援も計109件に及ぶなど、地域の映画文化の振興に取り組んでいる。



やました きよし
山下 清志さん
【陶芸】

1968年から丹波の陶工・生田和孝氏の薫陶を受けた後、鳥取の民藝運動家・吉田璋也と「浦富焼」の再興を目指す人々の後押しを受け、兄・山下碩夫氏と浦富焼を始め、初窯を焚いたのが1971年。その後、独立を機に延興寺の土を見だし、1978年に延興寺窯を築く。

土とほとんどの釉薬に地元産のものを使い、日々の暮らしを潤す焼き物づくりに取り組み、国画会の新人賞、川上奨励賞を受賞。

鳥取たくみギャラリーでの展示活動や、鳥取民藝協会会員として鳥取の文化を守り育てていく活動に取り組んでいる。



しらおか ひょう
白岡 彪さん
【デザイン】

多摩美術大学美術学部立体デザイン科を卒業後、鳥取市の家具メーカーでデザイナーを務め、独立後も長期にわたり家具（特に椅子）のデザインを精力的に行っている。また、吉田璋也の顕彰活動として本の出版やシンポジウムの開催など、鳥取市の民藝の再評価にも尽力した。

吉田璋也が異業種・異素材によるトータルコーディネートで生活用品を生み出したように、民藝の概念をデザインの概念に置き換え、新感覚の生活用品を「トトリデザイン」として数多く生み出すとともに、地場産業を総合的に演出するなど幅広く活躍している。



鳥取市少年少女合唱団
【音楽】

昭和55年に創立され、今年で創設40周年を迎える。その間、合唱の技術向上に努めるとともに、長きにわたって子どもたちの音楽教育に尽力してきた。

合唱コンクールへの参加のほか、毎年定期演奏会とチャリティークリスマスコンサートなどを行い、多くの人々と心温まる交流を行うとともに、歌を通して子どもたちの豊かな心を育て、その豊かさを社会に還元する活動を行っている。

幼稚園児から高校生までが所属する同合唱団は、子ども達が夢を広げ、夢を実現し、可能性を伸ばすことのできる大切な場所となっている。